

行政書士通信講座のランキングの根拠

本ランキングは、できる限り客観的な視点で通信講座を評価するため、受講経験者へのアンケート調査を実施し、あわせて現役の行政書士へのヒアリングも行ったうえで作成しています。

実際の利用者の声と、実務家の意見の両面から分析を行い、より良い講座選びの参考となる情報提供を目指しています。

■調査概要

調査方法	WEB アンケート
調査期間	2026年2月
有効回答数	38件
調査対象	行政書士試験受験経験者（不合格者含む）

ランキング掲載の対象記事：<https://gyo-gaku.com/media/examination/2571/>

■質問事項

- 利用した予備校・講座（通学 or 通信）
- 利用した資格予備校・通信講座
 - アガルート
 - スタディング
 - フォーサイト
 - TAC
 - LEC
 - クレアール
 - 東京法経学院
 - 伊藤塾
 - その他
- 試験の結果
- 合格の決め手になったと思うもの（複数可）
 - 過去問演習
 - 講義の質
 - 模試
 - 質問サポート
 - 学習計画管理

- 自己管理
- 予備校・通信講座を選ぶ際に最も重視したポイント
 - 価格
 - 合格実績・合格率
 - 講師の質
 - カリキュラムの網羅性
 - 動画の分かりやすさ
 - テキストの質
 - スマホ学習のしやすさ
 - 質問サポート体制
 - 学習スケジュール管理機能
 - 口コミ・評判
- 予備校・通信講座を実際に使ってみて満足度
 - 非常に満足
 - 満足
 - 普通
 - やや不満
 - 不満

■評価基準について

本ランキングは、受講経験者へのアンケート調査の結果に加え、実際に各講座のテキストや教材内容を確認したうえで作成しています。

また、受講料や公式サイトで公表されている合格率（公表の有無を含む）などの客観的情報も総合的に勘案し、評価を行っています。

主な評価項目は、以下のとおりです。

- 受講生満足度
- 価格
- 合格率
- サポート体制
- コストパフォーマンス

単なる口コミ評価にとどまらず、実際の教材内容や数値データも踏まえ、総合的な観点からランキングを作成しています。

■ アンケート調査の結果概要

今回のアンケート調査では、アガルートの受講者数が最も多く、現在の行政書士通信講座市場において高い知名度と存在感を持っていることが分かりました。以前よりも利用者が増加している傾向がうかがえます。

また、通信講座選びで最も重視されているポイントは「価格」や「テキストの質」でした。価格だけでなく、学習内容や分かりやすさを重視する傾向が見られます。

さらに、合格の決め手として最も多く挙げられたのは「過去問演習」でした。

講座そのもののブランド以上に、「どれだけアウトプットを積み重ねられるか」が合否を分ける重要な要素であることが分かります。

満足度については、一定の人気講座に回答が集中する傾向があります。受講者数の多い講座ほど評価データも蓄積されやすい構造が見られました。